



看護学生と市内小学生とのふれあい活動事業を行いました！

12月7日(火)に鎌手小学校、9日(休)に匹見小学校と真砂小学校で「県立石見高等看護学院の看護学生と地域の子どものふれあい活動事業」を行いました。

今回で13回目となるこの事業は、看護学生とのふれあい学習を通じて命の尊さや弱者へのいたわり、思いやりの心を育み、学童期の頃から看護職への関心を高めることを目的としています。



鎌手小学校では、看護学生が5年生児童(5人)に看護師を目指したきっかけや看護師になってよかったことを話したほか、看護学生が授業内容を考えた「危険を予知(予測)するトレーニング」やけがの対処方法をクイズと実践で楽しく学びました。

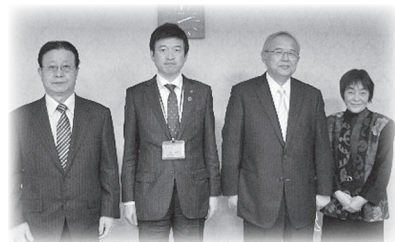
実際に、小学生の頃に看護学生と交流したことがきっかけで看護師を目指した学生も多くなります。地域の子供達がこのふれあい活動を通して看護師の仕事に興味を持ち、将来の職業選択のひとつにつながることを期待しています。

令和3年度島根県保健・医療・福祉功労者表彰を受賞しました！

神崎耳鼻咽喉科医院の神崎裕士医師、大森歯科医院の大森学医師、めばえ保育園の田中サト副園長の3名が令和3年度島根県保健・医療・福祉功労者表彰を受賞し、11月24日(休)に松江市のサンラポーむらくもで表彰式が行われました。

神崎医師は元公益社団法人益田市医師会会長として、大森医師は元社団法人島根県歯科医師会益田美鹿支部長として、多年にわたり地域医療ならびに地域歯科医療の推進に努め、保健医療の向上に寄与されました。また、田中副園長は元保育所所長として多年にわたり保育の充実に努め、児童福祉の向上に寄与されました。

表彰式に出席できなかった神崎医師へは、後日、山本市長から伝達され、あわせて受賞者3名が市長報告を行いました。これまで永年にわたりご尽力いただいた功績をたたえるとともに、今後も益田の地域医療および幼児教育・保育を支えてくださることをお願いしました。



成年後見制度中核機関を設置しました！

成年後見制度の利用を必要とする本人やその家族などからの相談に応じる「中核機関」を設置しました。

認知症になっても安心して暮らせるよう地域で支え合うネットワークづくりに取組みます。相談にあたっては、必要に応じて弁護士などの専門家からアドバイスを受けながら対応します。

まずはお気軽にご相談ください。

「中核機関」とは？

成年後見制度に関する身近な相談窓口です。申立手続きに関する相談の受付や、弁護士・司法書士・社会福祉士などの専門職団体の紹介を行います。

成年後見制度に関する他機関とも協力しながら、高齢者やその家族、後見人等のサポートを行うための中核を担います。

金銭管理・財産
管理が心配・・・

どこに相談
すればいいの？



成年後見制度の
利用には、
どんな手続きが
必要なの？

【問い合わせ先】市高齢者福祉課 地域包括推進係(益田市中核機関) ☎ 31-0245 ☎ 24-0181